

## 南無ちゃんのブログ 2014年9月

9月1日(月) 鮎竿の修理に挑戦.....	2
9月2日(火) 三ヶ月振りに日野川.....	3
9月3日(水) 鮎竿修理の結果と反省点.....	4
9月4日(木) 鮎竿(元竿)の修理.....	5
9月5日(金) 電気工事士試験合格発表.....	6
9月6日(土) 安い腕時計.....	6
9月7日(日) 青い空と穏やかな海.....	7
9月8日(月) 今年の夏を振り返って.....	8
9月9日(火) 稲刈りの時期.....	8
9月10日(水) 第六次九頭竜川遠征初日.....	9
9月11日(木) 第六次九頭竜川遠征二日目.....	9
9月12日(金) 第六次九頭竜川遠征三日目.....	10
9月13日(土) 第六次九頭竜川遠征四日目.....	10
9月14日(日) 第六次九頭竜川遠征五日目.....	11
9月15日(月) 第六次九頭竜川遠征六日目.....	11
9月16日(火) 第六次九頭竜川遠征七日目.....	12
9月17日(水) 第六次九頭竜川遠征八日目.....	12
9月18日(木) 第六次九頭竜川遠征九日目.....	13
9月19日(金) 第六次九頭竜川遠征十日目.....	13
9月20日(土) やっぱり我が家は良いわぁ！.....	14
9月21日(日) 牛窓でセーリング.....	14
9月22日(月) 味覚の秋.....	15
9月23日(火) アンテナ整備の前に.....	15
9月24日(水) 警察署に用事ありて.....	16
9月25日(木) アンテナ整備.....	16
9月26日(金) 株投資初心者.....	17
9月27日(土) AFA-40(アンテナ)を貰い受け.....	17
9月28日(日) R7000(アンテナ)を貰い受け.....	18
9月29日(月) R7000を移設.....	19
9月30日(火) 太陽黒点数が200越え.....	19

## 9月1日(月) 鮎竿の修理に挑戦

午前中は、FIMASAOで太陽光発電所とブドウ園の草刈をしました。午後から、鮎竿の修理に挑戦しました。

一月程前に、穂持の先に近い部分が折れた竿をカーボンFRPで補修したのが初めてですが、何とか自分にでも出来そうな感触を得たので、もう一度経験を重ねてみようという試みです。

実は10日ほど前に、私の鮎師匠である唱兄がSHIMANOのFWの6番(元竿の次)を折ってしまいました。唱兄は直ぐにスペアパーツを注文して、もう手元に届いているので、私の修理が上手く行こうが行くまいが、どおってことはないのです。だから、試しに修理してみるという軽いノリでチャレンジしました。



鮎竿は高い竿程折れ易く、スペアパーツを買うと割引は効かないし、実に高価なのです。今回修理する6番のお代は約9万円だったようです。ですから、修理する術を身に付けておけば、大変お得なのです。

### ◎修理用材料

- 1)ポリエステル樹脂(FRP用)
- 2)同上用硬化剤
- 3)カーボンクロス(140g/m<sup>2</sup>)

### ◎道具類

- 1)ハサミ(カーボンクロス切断用)
- 2)スポイト(硬化剤の計量用)
- 3)紙コップ(樹脂と硬化剤の混練用)
- 4)折れた竿の内側に入れる手持ちの竿(カーボンクロスを巻く時、竿を補強するのに使用)
- 5)ビニールテープ(カーボンクロスを巻いた上から固定するのに使用)
- 6)ゴム手袋(樹脂が手に付くとベトベトするので)
- 7)樹脂製スプーン(樹脂と硬化剤を混ぜるのに使用)
- 8)ベニヤ板(カーボンクロスに樹脂を塗布する時に使用)

### ◎手順

- 1)折れた竿を補強するために心棒となる手持ちの竿にビニールテープやマスキングテープを巻いて、太さを調整する。心棒は樹脂が硬化する前に除去するので、適度なきつさに調整すること。
- 2)心棒の上に、修理する(折れた)竿を重ねる(挿入する)。カーボンクロスを巻いた時に、折れ口が回転しないように、心棒と折れた竿をテープで固定する。

3)ポリエチレン樹脂を紙コップに約 30g 入れて、硬化剤を約 0.5cc 混ぜ合わせる。(30 分程で硬化するので、以降の作業は迅速に行うこと。)なお、樹脂は 10g もあれば足りるのですが、硬化剤は樹脂に対して 1~1.5%の割合なので、あまりに少量だと計量が困難なため、敢えて約 30g としました。

- 4)ベニヤ板の上にカーボクロスを置いて、硬化剤を混ぜた樹脂を塗布する。
- 5)樹脂を塗布したカーボクロスを折れ口の上下に巻く。
- 6)ビニールテープをカーボクロスの上から巻いて、カーボクロスと竿を密着させる。
- 7)心棒を除去する。
- 8)樹脂が硬化するまで放置する。半日も放置すれば硬化するようです。

さてさて、仕上がりはどんなでしょうか???明日のお楽しみです。

なお、筆者は鮎竿の修理に関してはズブの素人なので、まずい点もあるかもしれません。決して真に受けてマネなどなさないように・・・責任は持ちません＝無責任宣言

## 9月2日(火) 三ヶ月振りに日野川

今週も週間天気予報を見ると雨の日が多い中、唯一今日は晴れそうな日だったので、狙いを定めて日野川に出撃しました。

午前中(10時から)生山の駅前下流の瀬に入りました。オトリ屋さん情報では根雨の方が形は大きいとのこと。釣り人は誰も居ないので、独り舞台です。曇り空のためなかなか掛かりませんでした。午後1時まで粘ってやっと10尾の釣果です。小型(約15cm)が多く、稀に20cmや10cmが混ざります。

昼食を取ってから根雨に移動しました。根雨では、日野病院前の瀬に入りました。ここにも釣り人は居ませんでした。釣れないのかも知れないと思って、恐る恐る入ったところ、いきなり掛かりました。それも20cm超の良形です。根雨で4時までやって、8尾の釣果でした。一番大きいのは23cmでした。陽射しが届けばもっと良かったのですが、一日中曇り空でした。



## 9月3日(水) 鮎竿修理の結果と反省点

一昨日カーボクロスを巻いて修理したロッドからビニールテープを解きました。写真はペーパーがけをする前の状態です。

カーボクロスを巻く時には気付きませんでした、FWの方は少し曲がっていて「く」の字になってしまいました。ありやいやあ・・・です。樹脂が固まると強度的には十分そうな感じですが、接続部にやや凹んだ箇所があり、気になります。黄色の Triple Force の2番のように、もう一度カーボクロス巻けば、身を厚くすることはできます。

Triple Force の2番は、2回カーボクロスを巻いたので、オリジナルよりも強くなったんじゃないかと思える程になりました。試しに穂先(1番)を入れてみると、接続部の内側に樹脂が廻りこんでいるようで、途中で引っかかりました。針金の先にサンドペーパーを巻きつけて、内側を根気良く研磨すると、少しは良くなりましたが、やはり接続部の内側が狭くなっているようです。チューブラ穂先を無理して挿入すると割れるかもしれません。この2番は、先日購入したソリッド穂先と組合わせて使うようにしようと思います。

別の反省点として、樹脂やカーボクロスが接続部以外の部分に付着していて、少し見苦しくなってしまったので、次回からはマスキングテープを巻くなどして保護するようになりたいと思います。

カーボンFRPによる修理は、玉口の欠けや、元竿のヒビ割れなどにも適用できそうなので、自分で竿を修理することによって、末永く愛用できそうです。昔は使い捨てる時代だったかもしれませんが、今の時代は Sustainable(持続可能な)というキーワードがもてはやされており、時代にぴったりです。私も昔と違って、今の収入は限りなくゼロに近いので、鮎竿が折れても、おいそれとオニューを買うわけにはいかないのです。



今日は朝一番からブドウ園で草刈をしました。その後、竿を補修作業をしてから、在庫のチビ鮎を解凍・背開きにして一夜干しにしました。

## 9月4日(木) 鮎竿(元竿)の修理

DAIWA AirMaster A 90SC の元竿が2箇所も折れたのが手元にあったので、カーボン FRP で修理してみました。2箇所も折れているので、人間で言えば複雑骨折みたいなものです。当時はカーボン FRP による修理を思いつかなかったもので、そのままお蔵入りさせていたようです。

中間部分の折れたところは、熱収縮チューブでなんとか繋がっています。折れた部分の熱収縮チューブは残して、その上からカーボン FRP を巻くことにしました。



元栓の少し上の破損箇所は、かなり欠落しています。(写真の白い部分は、竿の内部に入れた紙の筒です)

一回だけのカーボン FRP 処理で修理するのは困難だと思ったので、まずカーボン FRP を2回巻いて硬化させた後に、更にカーボン FRP を2~3回巻いて仕上げることにしました。

下の写真は1回目のカーボン FRP が硬化した時の様子です。



2回目のカーボン FRP を巻いた後の状態です。この後、サンドペーパーで表面を磨けば修理完了です。近いうちに、実釣で強度を確かめてみたいと思います。



## 9月5日(金) 電気工事士試験合格発表

7月に受験した電気工事士試験の発表がありました。インターネットで受験番号を入力すると、合否が分かります。その結果・・・じゃじゃ～～ん！「合格」でした。

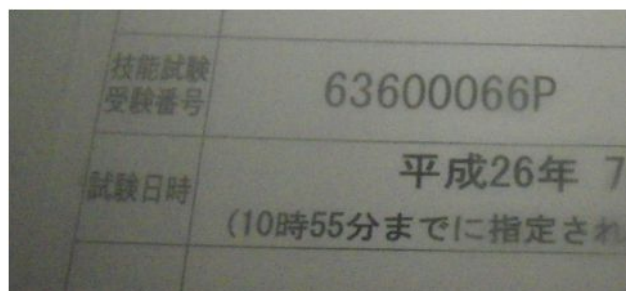
今年は気合を入れて練習したのが良かったみたいです。



### ■受験番号検索結果

試験種別	平成26年度 第二種電気工事士試験 上期技能試験
受験番号	63600066P

入力した受験番号は合格者一覧にあります。



ボロボロに折れていた鮎竿も修復できました。サンドペーパーで磨いて、ウレタン塗料を塗りました。来週、九頭竜川にて実釣試験をしたいと思います。

午前中、我が家の20年点検に業者の方が来られました。家を建てる時には20年のローンを払い終わるは遙か彼方のことだと思っていたのですが、時が経つのは早いものです。点検の結果、特に緊急に修理を要するような箇所は無かったとのことで安心しましたが、シロアリ防除の見積を置いて行かれました。ちょっと手の込んだ勧誘のようにも感じました。

午後からは、ブドウ園に行って草刈をしたり、防除作業を行いました。今日は久々にお日様がでて暑い一日でした。

## 9月6日(土) 安い腕時計

六七年前にANAのマイレージで貰ったTimexの腕時計が壊れてしまいました。壊れたといってもLCDが表示しなくなったので、恐らく電池の寿命に達したのでしょう。随分長い間愛用した時計なので多少愛着があります。

ホームセンターに行く機会があったので、電池交換をしてもらおうと思ったのですが、生憎交換できないと言われてしまいました。平素の生活では時計など不要ですが、来週鮎釣遠征に行くために必要なので、電池交換費以下の価格で新品の国産ブランドの腕時計を買いました。なんと税込込みで1008円という低価格でした。

腕時計というものを自分の腕に付け始めて以来、最低価格の時計です。私達の年代では、高校に進学する時に腕時計を買ってもらったものです。今よりも物価水準は高かったと思うのですが、平均して3万円位の腕時計を身に付けていたように思います。昔は皆、無理をして高級な腕時計を買っていたんですねえ！

今でも百万円以上の超高級な腕時計は存在するのですが、私には縁がありません。軽くて腕

にフィットして、釣り場で時刻が分かれば十分なのです。

やっぱり、安部蚤苦巢の印風麗誘導には無理があると今日も思うのでした。大量生産--->価格競争--->物価下落という流れを断ち切ることができるのでしょうか？今の私の収入がバンバン増えれば考えなくもないですけど・・・



## 9月7日(日) 青い空と穏やかな海

今日は、三ヶ月振りに牛窓にヨットに乗りに行きました。一日中晴れの穏やかな天気でしたので、かなり日焼けしました。この1ヶ月を振り返っても一日中晴れの日なんて無かったように思うので、とても陽射しが心地よく感じられました。おまけに、海上は風で、穏やかな海を漂流するようなクルージングでした。久しぶりに参加したので、話に夢中で、一日があっという間に過ぎてしまいました。

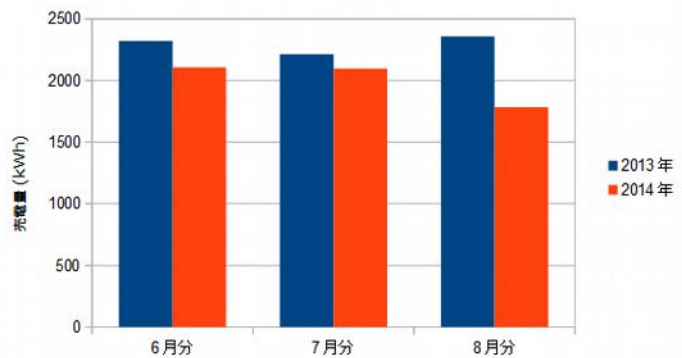
青い空の下、穏やかな海の上で心地よい一日を過ごすことができました。



## 9月8日(月) 今年の夏を振り返って

今宵は中秋の名月。つまり秋も半ばです。昨日あたりから、やっと夏の名残が戻ってきたような天気になりました。

今年の夏は日照不足だと報道されていますが、私の太陽光発電所の発電量を昨年と比較してみました。8月は昨年の74%、7月は95%、6月は91%でした。岡山の今年8月の日照時間は、平年の30%~40%だと言われていますが、発電量の方は日照時間程落ち込んでいませんでした。(曇りでも30%位は発電します。) それにしても、6月から8月までの3ヶ月間で連続して前年同期を下回っているのですから、今年の夏は冷夏・日照不足だったと言えるでしょう。農作物への影響が心配です。



## 9月9日(火) 稲刈りの時期

家の窓から見える田んぼの稲が色付き始めています。既に刈り取った田んぼのありますし、まだ青々とした田んぼもあります。丁度グラデーションが掛かったようになっていて面白いなと思ったのでシャッターを押しました。これから9月末までにかけて稲刈りの季節です。



今日も穏やかな秋晴れの日でした。当地では、竹荘八十八箇所巡り(通称お大師様)の日でした。年に春と秋の二回行われる行事です。丁度当番でしたので、お大師堂でお遍路さんのお接待をしました。盆踊りや秋祭りなどのお宮の行事は、日曜日や祝祭日に合わせて行われることが多くなりましたが、お大師様だけは昔と同じ日です。旧暦の3月16日と8月16日、十六夜の日です。

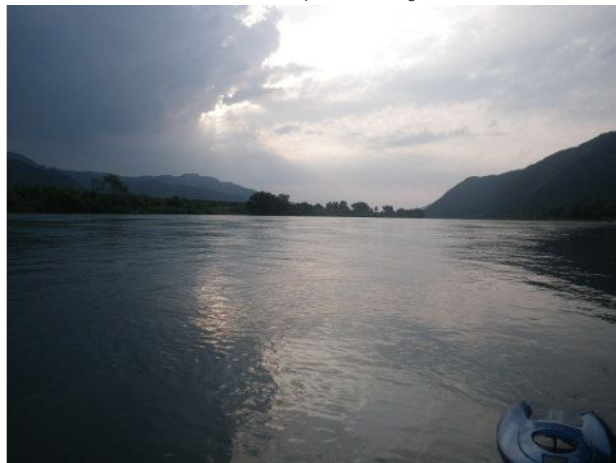


## 9月10日(水) 第六次九頭竜川遠征初日

またまた九頭竜川にやってきました。一日中、薄曇りの天気でした。水位は平水ですが、やや濃い笹濁りです。午前中、飯島の三番瀬に入っていきなり根掛り。その後6尾かけたのですが、3尾根掛り。

午後は吉波に移動しました。やはり、9月から解禁になったコロガシの人もいました。流れが緩いところに鮎が付いているようです。

3時過ぎに、寒いしそろそろ上がろうかと思って、上野さんに電話すると爆釣とのことだったので、合流して残業しました。そこで、良型を4尾ゲットしてやっと1ダースの釣果でした。



## 9月11日(木) 第六次九頭竜川遠征二日目

川の濁りは昨日よりも濃くなった感じ。天気は朝のうちは曇り、午後から晴れ。午前午後共昨日と同じトロバで釣りました。「朝瀬、昼トロ、夕のぼり」と言いますが、朝の早い時間でもトロバでプリプリに太った良型の鮎が掛かりました。逆に午後からはお昼休みなのか、あまり掛かりませんでした。

修理した竿で24~25cmの鮎を抜こうとすると、「ミシミシ」という音がしました。後でよく見るとヒビ割れしていましたので、途中で竿を交換しました。この竿は140gのカーボクロススを2周巻いたのですが、最低でもその倍は必要ようです。サンドペーパーで仕上げる際に磨きすぎたのが原因かもしれません。なかなか修理も難しいものですね。



## 9月12日(金) 第六次九頭竜川遠征三日目

午前中は快晴、中島にて、午後から薄曇、飯島に移動。水位は平水、笹濁り。やはり九頭竜の水は冷たいので、ドライスーツが必要です。



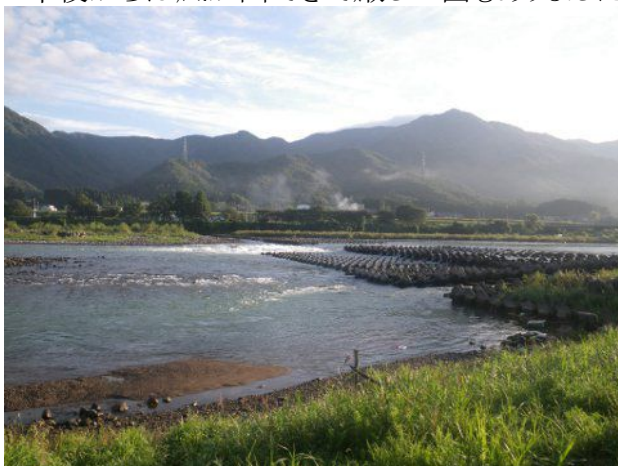
## 9月13日(土) 第六次九頭竜川遠征四日目

朝目覚めるとビッグサプライズでした！昨日よりも水位が約40cm下がって、濁りもなくクリアになっていました。恐らく、ダムが放水を停止したためだと思います。

理由はどうあれ、瀬釣りの好きな人にとっては、今まで指せなかったポイントを目指す千載一遇のチャンス到来です。私は、減水した時には、鮎は深い所に集まるという話を信じて、昨日と同じトロ場に行きました。朝一番でもトロ場でかかるということは実証済みです。ドライスーツだと瀬を歩き回るのはきついで、安全安心なトロ場を選択したのです。

鮎は期待どおりそこそこ掛かりましたが、なんと10mのFW100NEの3番と4番がバラバラに折れてしまいました。根掛りしたのを煽って竿を折ってしまったのです。スペアパーツを買うと10万円以上するでしょう。トホホです。まあ、そんなこともあるでしょう。楽しい遊びに没頭して辛いことは忘れることにしました。即、別の竿を取りに行き、何事も無かったような振りをして鮎釣りを続行しました。

午後からは風が出てきて厳しい面もありましたが、良型の鮎20尾という釣果でした。



## 9月14日(日) 第六次九頭竜川遠征五日目

昨日よりも更に減水して、飯島では何処でも瀬を渡ることができる程でした。

良く晴れて絶好の釣り日和でしたが、釣果の方はいまいちでした。瀬でかけた鮎の型は小さいし、トロでもあまりかかりませんでした。



## 9月15日(月) 第六次九頭竜川遠征六日目

今日も晴れ。水位は昨日よりも少し高くなっていましたが、平水よりは30cm位は低く、濁り無し。

昨日よりは釣り客は少し減ったようです。午前中、浄法寺橋の前後でやっていましたが、坊主でした。午後から飯島の右岸を下って瀬釣りをして何とか13本釣れたのでホッとしました。



## 9月16日(火) 第六次九頭竜川遠征七日目

今日は昨日よりも更に10cm程増水していました。天気は晴れ後曇りで、午後からは風が強くなりました。三連休も終わり、釣り人の数は激減しました。

増水したためか、水温が低くなったようで鮎の追いが悪くて、釣果が上がりませんでした。午前中だけで釣りを止める人も多かったようです。



## 9月17日(水) 第六次九頭竜川遠征八日目

今朝の気温は15℃、水温も同じく15℃。寒い冷たい朝です。そんな話を聞くと川に入る気が失せてしまいました。ゆっくり朝食を食べて、坂東島のトロ場に入ったのは9時を回っていました。そこで、粘ってみましたが、大した釣果も上がらず、お昼には飯島に戻って午後は飯島の左岸に入りましたが、反応なく4時前に切り上げました。

鮎があまり釣れなくなってきたので、熱が冷めてきました。そろそろ帰ろうかなあ・・・



## 9月18日(木) 第六次九頭竜川遠征九日目

今朝の気温は17℃、水温は16℃でした。いずれも昨日よりも高めなので、鮎の活性が良くなっているかもしれません。天気予報では一日中晴れマークでしたが、実際は一日中薄曇でした。体感的には昨日よりは気温も高めだったようです。お蔭で、今日は20尾近く水上げすることができました。



## 9月19日(金) 第六次九頭竜川遠征十日目

今朝は冷え込みました。水温は14℃で、水位は昨日よりも5cm位下がったようです。天気予報では一日中晴れマークだったのですが、晴れていたのは朝のうちだけで、曇りが優勢な天気でした。

午前中は飯島の三番瀬右岸側、午後は浄法寺橋上流左岸側で釣って、併せて20尾くらいでした。浄法寺橋上流のトロ場では、25cmの鮎が釣れました。

明日から飛び石連休(シルバーウィーク)のため、釣り客も多くなると予想されるので、今日で遠征を終了することにしました。最終日である今日、今期最大寸の鮎を釣ることができて、大満足の日でした。



## 9月20日(土) やっぱり我が家は良いわぁ！

10日間の九頭竜川遠征を終えて、今朝7過ぎに帰宅しました。永平寺町を出発したのが午後6時頃だったので、400kmを13.5時間かけて移動したことになります。正味の運転時間は約5時間なので、睡眠時間と休憩時間を8時間半も取っているのに、帰宅しても疲れは感じません。疲れと言えば、10日間もずっと竿を持っていたので、肩と腕に少し痛みを感じます。

午前中は洗濯したり、車の掃除をしながらマッタリと過ごしました。午後からは、鮎の一夜干しを作ったり、家の廻りの草刈をしました。

家族と共に夕食をとったり風呂にゆったり浸かると、しみじみ我が家は良いなあと思いました。



## 9月21日(日) 牛窓でセーリング

天気が良さそうだったので、牛窓にセーリングに出かけました。弱めの風でしたが、その分のんびりとセーリングを楽しむことができました。

ジパングセブンには2つのジェネカーがあるので、それぞれの性能を比較してみました。弱い風の時は、セール面積は小さくて薄手のジェネカーが適しているようです。



## 9月22日(月) 味覚の秋

本格的な秋になりました。色々な果実が美味しい季節です。梨、ブドウ、栗、イチジク、柿・・・スーパーでイチジクがパックに入って売られているのを見かけますが、私は超田舎者なので、そんなのは一度も買ったことがありません。イチジクは樹になっている完熟のヤツを、その場で頬張るのが一番です。

今日は農協に肥料を買いに行き、ブドウ園に礼肥として撒きました。午後から家の廻りの草刈をしました。のどかな一日でした。



## 9月23日(火) アンテナ整備の前に

鮎釣りシーズンも終わり、次はアマチュア無線のシーズンです。秋から冬にかけては電波も良く飛ぶ(???)し、著名なコンテストもあるので楽しみな季節です。

夏の間は雷や台風を避けるために、アンテナは降ろして完全に閉店していました。なので、オンエアするためにはアンテナ整備が必要ですが、その前にアンテナタワー周辺の草(低灌木)を刈ってアクセスを良くしました。秋とは言え、山の中には血に飢えた藪蚊が沢山いて、襲ってきました。あちこち刺されて痒いのなんの・・・トホホです。



## 9月24日(水) 警察署に用事ありて

朝から霧がかかっている鬱陶しい天気でした。いつ雨が降っても良いように、警察署に出向いて用事を済ませることにしました。経験者講習の申込をして、ついでに銃所持許可の更新手続きのための書類を貰いました。更に、電気工事士の免状交付申請に必要な岡山県収入証紙を購入しました。岡山県収入証紙は県庁と県民局と警察署で販売しているというのです。電気工事士と警察署は何の関係も無い筈なので変な感じです。

午後から雨が降るだろうと思っていたのですが、なかなか降らないので、仕方なく家の廻りの草刈をしました。今、草刈をしておけば来年の春まで手要らずの筈です。

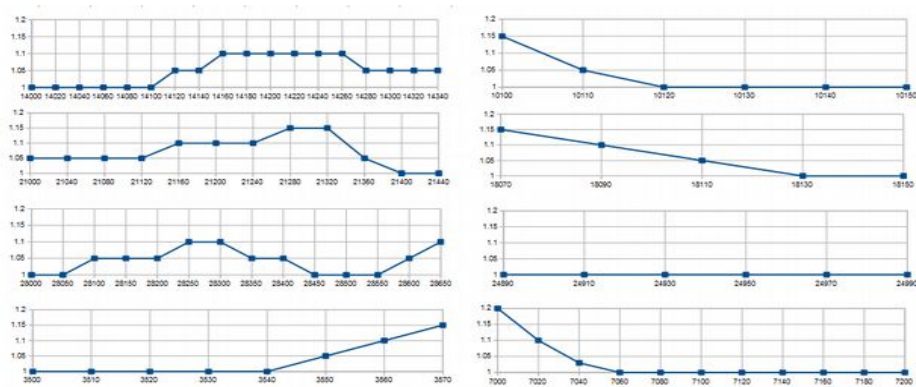


## 9月25日(木) アンテナ整備

台風の通過に伴い、大雨や落雷、風などの影響が予想されたのですが、朝になったら雨もあがっていて、あまり大したことはありませんでした。台風が去ったのでアンテナを上げることにしました。

7MHzのインバーテッドVアンテナとWARCバンド用のトライバンダーは上げっ放しでしたが、夏の間降ろしていたハイバンド用11エレ八木と3.5MHz用のインバーテッドLアンテナ(ダブルバスーカアンテナ)を上げました。

上げたついでに、全部のSWRを測定してちゃんと使えるかどうかを確認しました。どのアンテナもSWRがバンド内で1.2以下になっていて、調子いいみたいです。





## 9月26日(金) 株投資初心者

あまり深く考えずに株による資産運用をしています。儲ける基本は安く買って高く売ることだと単純に考えていたので、「株価が安くなれば買いだ」なんて思っていました。なので、高くなれば売って利益を確定する・・・すると、次は何を買うのか迷ってしまいます。適当な銘柄の株を買っちゃうと、その後に株価が低迷して長期間塩漬けなんてことになってしまいます。実際、昨年6月から200万円近くの資金を1年以上塩漬けにしていました。

鮎シーズンも終わり、株取引ツールを眺める時間も多くなったので、自分なりに銘柄を厳選して買ってはみるものの、それほど利益が上がっているようにも思えません。むしろ、下がった株は売らずに、上がった株は直ぐに売ってしまうので、含み損が膨らむばかりです。塩漬けにしても、株価が回復すれば良いのですが、ずっと下がりっ放しということも有り得ます。

2002年にノーベル経済学賞を受賞したダニエル・カーネマン(Daniel Kahneman: 心理学者)の「プロスペクト理論」では、「投資家は利益を得ている状態では利益を確定する行動をし、損失が出ている場合は、損失を確定しない行動をとる」というのです。私の行動は正に彼の理論通りなのです。

そこで、私なりに「損失を確定する=損切り」のルールを決めて、実行してみようと思い始めています。どんなルールにするのか思案中です。このルールのことをストラテジーって言うんですねえ・・・

例えば、xx%下がったら必ず損切りして、xx%上がったら利益確定するかどうか再考するなんてどうかなあ？(損失は早めに確定させて、利益確定は先送りするという戦略)



## 9月27日(土) AFA-40(アンテナ)を貰い受け

今日は我が家の稲刈り日でした。爺さん(親父)が主役で、家内や娘も手伝いをするという家族の一大イベントです。私も一応イベントには参加しましたが、見守るだけという程度の役割りしかなくて少し残念です。

順調に稲刈りが進行していることを見届けた後で、先日逝去されたJA4AQAさんの遺品であるアンテナを貰い受けに行きました。今日はAFA-40を撤去しました。丁度私のAFA-40の調子が悪いので、それと交換しようと思っています。



## 9月28日(日) R7000(アンテナ)を貰い受け

昨日に引き続き、坂口さんの遺品であるアンテナ・・・CushCraft R7000 を貰い受けに行きました。

簡単に撤去できるだろうと思っていたのですが、5.5mのSGP40Aのトップに設置してあったため、降ろすのに苦労しました。大型の三脚の最上段に立ってやっとネジが緩められる程だったので、ネジを緩めても降ろすことができませんでした。仕方がないので、ガス管に足場を取り付けて登ることにしました。3mm程度のクレモナロープのステーだけでは命に危険を感じたので、家から3mの足場鋼管を3本持参して、ガス管を支持・補強してから撤去作業をしました。お昼までには何とか撤去できました。

午後から、車庫の奥に物を置くための棚を作りました。足場鋼管や直交クランプなどは手持ちの材料を使いましたので、新規に購入したのはコンパネ2枚だけです。実は、ブドウ園の防風ネットを来年から張ろうと思って、先日予約したのですが、直ぐに配達されてしまったので、収納する場所を緊急に確保する必要があったのです。折りしも、稲刈りでコンバインが出動していて、車庫の奥へのアクセスが良い状況だったので、簡単に作業できました。棚を作ったら、昨日稲刈りした籾が米になって、早速今日の夕方には配達されてきました。タッチの差で間に合っただけです。



## 9月29日(月) R7000 を移設

昨日貰い受けてきた R7000 を、我が家のアンテナファームに移設しました。

5m のガス管を 2m と 3m に切断して、2m の方を地面に打ち込みました。自在クランプを 2 個使用して、2m のパイプに 3m のパイプを固定しました。R7000 は 3m のパイプの先端部に取り付けるので、地上高 3m になります。

R7000 は全長 7.31m、重量 8.2kg なので、バーチカルアンテナとしてはかなり重いのですが、次のような方法で、一人でも楽にアンテナを立てることができました。

- 1) 2 個ある自在クランプのうち、上の方を開放して 3m のパイプを倒して、R7000 を取り付けます。
- 2) 脚立と三脚を利用して、3m パイプを脚立に倒れかけさせておきます。
- 3) R7000 の荷重を三脚に乗せた状態で U ボルトのネジを締めます。
- 4) その後で、3m パイプと R7000 を垂直に立てて、上側の自在クランプを固定します。

アンテナを立ててから SWR を測定してみましたが、かなりずれていたなので、再調整が必要です。再調整する時にも、同じやり方でアンテナを倒してパイプの長さを加減すれば良いでしょう。



## 9月30日(火) 太陽黒点数が 200 越え

太陽黒点数が半年ぶりに 200 を越えています。50MHz バンドでは、フィリピンやインドネシア、オーストラリアなどが入感していました。私も半年振りに 6m で DX と QSO しました。サイクル 24 のピークは過ぎたと思われませんが、今年の秋も余韻を十分楽しめそうです。

ブドウ園に元肥として施肥するために、先日エコ堆肥を注文していたところ、本日 2 トン車で 2 杯分配達されました。ブドウ園に配るだけでも大変な作業なのですが、土を掘り返して混和するので、この作業に一体何日かかるのでしょうか？？先が思いやられます。

